



いよいよ運動会！

10月も3週目になるというのに、昼過ぎになると職員室前の熱中症計は31℃(原則運動禁止)を超えてしまいます。そんな状況の中で、今年も子ども達は、明日の運動会に向けて、準備や練習を続けてきました。特に6年生にとっては、決して楽しいことばかりではなかったことと思いますが、子ども達自身が成長を自覚することのできた数週間だったように思います。

多くの学校の運動会のプログラムの中に「応援合戦」があります。しかも、子ども達が主体的に取り組めるよう結構な練習時間を確保しています。それだけ、教育的な価値の高い活動だということだと思います。①リーダーとして6年生が育つ。②タテのつながりや横のつながりを深めることができる。③やったことのないことに挑戦する機会が多い。④みんなで対話し、協力して1つのものを創る経験をすることができる。⑤みんなで「達成感」を味わうことができる。など、その年の準備の進め方によってその価値は変わるのかもかもしれませんが、「応援合戦」を創る過程で、子ども達は、さまざまな経験をし、多くのことを学び、教科の学習ではできないような成長を見せます。

今、この原稿を書いているのは、3時間目です。2時間目には、最後の色別集会(応援合戦の練習)がありました。当然のことながら、各色の6年生達は気合が入っています。そうした気合は、下学年の子ども達にも広がっていきます。明日の本番では、会場の雰囲気は練習の時とは違います。また一段と気合の入った姿を見せてくれるのだろうと楽しみにになりました。

練習が終わると、各色のテントに分かれて、6年生が下学年の子ども達に向けて1人1人メッセージを伝えます。「明日は、絶対に優勝しよう!」とか「みんなは、きっと今日以上にできる!」とさらに気合を入れる子がいます。一方、「これまで、一生懸命練習してくれてありがとう!」と下学年の子ども達に感謝の気持ちを伝える子もいます。思いのこもったメッセージを恥ずかしがらずに伝えることができます。その6年生の思いに対して、下学年の子ども達は、こんな返事ができるのかというくらい大きな「はい!!!」で応えます。集団としてのまとまりを感じる瞬間です。「今年もいい集団になったなあ。」と感じます。

未来を創るのは子ども達です。津和野小では、みんなで何かを創り上げる活動を大切にしています。「応援合戦」も「学習発表会」も自分達の学級だって、より良い学級になるようみんなで話し合って創り上げていきます。そうした活動の1つ1つが、より良い「未来を創る」ための大切な経験であり、学習であると考えています。みんなで対話し、みんなが楽しく幸せな未来を創る練習なのです。今年最後の色別集会を頼もしく感じながら見ていました。そして、今年も子ども達は「運動会を創る」「応援合戦を創る」活動を通して、(みんなが幸せな)未来を創ることのできる力を身に付けているなあと感じることができて、とてもうれしくなりました。

今年の運動会のスローガンは、「最後まで 笑顔でがんばろう!」です。この笑顔は、照れ隠しの笑顔ではありません。悪ふざけの笑顔でもありません。運動会を全力楽しんでいる笑顔です。自分達の努力の結果を心から喜んでいる笑顔です。友達や相手の色組の頑張りに心から拍手を送る笑顔です。保護者の皆様、地域の皆様、今年はそうした子ども達の笑顔にご注目ください。

あとは天気か…。



職員室にある職員連絡用ホワイトボードです。本校職員の願いです。



～未来は自らの力で切り開こう！～



令和7年7月18日(金)
津和野町立津和野小学校
学校だより



NO. 3

1学期ありがとうございました！

「未来を創る つわのっ子」を合言葉にスタートした今年度も、早いもので本日、1学期を終了しました。1年生は初めての小学校生活でしたが、すっかり慣れてきたようです。2年生は、どことなくお兄さん・お姉さんになりました。3年生・4年生は、変わらず元気いっぱいです。5・6年生は、1つの行事を終えるごとに、高学年らしい言動が増えてきて、頼もしい限りです。

明日からは、夏休みです。安全面、健康面に気を付けて、楽しく充実した夏休みにしてほしいと思います。夏休みに明けには、元気いっぱい、やる気いっぱいの子ども達にあえるのを楽しみにしています。

保護者の皆様、地域の皆様、1学期の間、本校のさまざまな教育活動に対してご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。おかげで、充実した1学期の本校教育活動を実施することができました。引き続き、2学期もよろしくお願いいたします。

終業式で伝えたことです！

1学期が終わります。今日は、1学期を振り返って、自分にはどんな成長があったかを確認する大切な日です。それぞれの学級目標を達成するために、めあてを決めて頑張ってきましたね。皆さんには、どんな成長がありましたか？



これまでの自分を超越しようとみんな頑張りました！

校長先生は1学期の間、皆さんを見ていて、成長したな～、と感じることがたくさんありました。それぞれの学級の学級だよりからもたくさん成長を感じました。「あったかハート」の放送からも感じました。たくさんありましたが1つだけ紹介します。

体育館の前に同じ種類の4本の大きな木があります。「ヒマラヤスギ」という木だそうです。この木の下には、どういう訳か春先になるとたくさんの落ち葉がたまってきます。雨が降ると落ち葉は、低いところに流されてたくさんたまってしまいます。いつのころからだったか、3年生のSくん、Mくん、Kくんは、その落ち葉を集めては、一輪車に乗せて校舎の裏に運んでくれていました。休み時間の時もあるし、放課後の時もありました。運んでも運んでも、後から後から落ち葉はたまっていくのですが、彼らは楽しそうに運んでいました。落ち葉が溜まった様子は、美しいものではなかったのだと思います。誰かに言われてやっているような感じではなく、自分たちの学校を自分たちの手できれいにしようと、進んで取り組んでいるようでした。

「未来を創る つわのっ子」の「つ」は、「ともにつくる子」です。美しい津和野小を創るために進んでこうした行動のできる彼らの成長ぶりを、とても頼もしいと思いました。自分で考えて津和野小のために行動できる子、つまり「ともにつくる子」が育っていることがうれしくなりました。

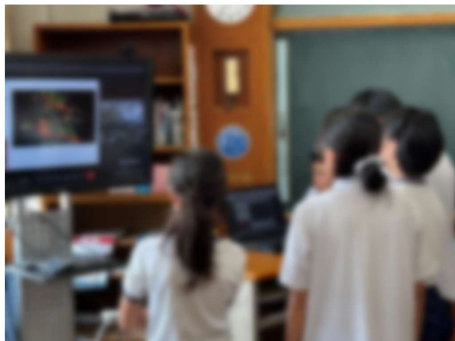
このように、皆さん一人一人、「つわのっ子」に向かって必ず進歩・成長しています。成長していない人なんていません。1学期の成長に自分で気づいて、自信を持ってほしいと思います。「できない！」→「めんどくさい！」→「やらない！」から「できた！」→「もっとやりたい！」→「挑戦しよう！」と思える「つわのっ子」になってほしいです。

夏休みも「言われたことだけやる人」から「自分のやりたいこと見つけてやる人」に変わるチャンスです。自分のやりたいこと(今までやったことのないこと)にどんどん挑戦してみてください。そうした挑戦は、きっと「つわのっ子」の「の」、つまり「のびる子」へと成長する良い機会になります。

最後にお願ひです。事故や事件に巻き込まれることがないように、担任の先生の話をしっかり聞いて、良い夏休みにしてください。



鶴山小との交流学习！



今年も、6年生の教室では、津山市立鶴山小学校とのオンラインによる交流学习が始まりました。津和野町は、令和3年度に岡山県津山市、大分県中津市との間に「蘭学・洋学 三津同盟」を締結しています。この3つの市町からは、江戸時代の末期から明治時代にかけて、著名な蘭学者・洋学者を輩出しているというつながりがあります。ちなみに、津山市は、津田真道、宇田川玄信など。中津市は前野良沢、福沢諭吉など。そして本町は、もちろん西周、森鷗外などです。

そうした縁で、本校6年生と鶴山小の6年生も、郷土の歴史等について情報提供し合い、お互いの郷土に誇りと愛着を持つ子ども達の育成をめざして、交流がスタートしました。今回は1回目ですので、互いの町や学校の様子をスライドにまとめて発表し合う形で行われました。本校の6年生が町の様子について紹介する様子を見ていました。私自身初めて知るようなこともたくさんありました。たくさんの情報をコンパクトにまとめて伝えていました。スライドも上手に作っていて感心しました。きっと、鶴山小の6年生は、津和野の町のことについて興味を持ってくれたことと思います。観光客の皆さんに聞かせてあげると喜ぶだろうなあと思うような発表もありました。

子どもも大人も笑顔の通学合宿！



津和野町では、夏の風物詩となっているのでしょうか、「通学合宿」が今年は畑迫公民館を中心に行われました。公民館の方にお話を聞くと、新型コロナウイルスが蔓延している時期に開催できなかったことがあるものの、23年前から続いているプログラムだそうです。教育委員会、中央公民館、小川公民館、畑迫公民館の皆さんを中

心に実行委員会を作って開催しておられます。

調べてみると、「通学合宿」というプログラムは昭和58年に、福岡県庄内町（現在は、福岡県飯塚市庄内町）が実施した「通学キャンプ」がはじまりのようです。つまり最初は、キャンプ場から1週間程度学校に通う社会教育のプログラムだったようです。やがて、庄内町では、「通学合宿」のための専用の施設（「生活体験学校」と言われていたそうです。）も作られ、年間をとおして、「通学合宿」が実施されるようになりました。

「ご飯を作る」「洗い物をする」「洗濯をする」など、普段家族にしてもらっている身の回りのことを自分達で協力して行いながら学校に通うという体験学習です。異年齢の集団で、生活することを通して、人間関係力や生活力を育むことも目的の一つだったようです。

やがて、庄内町での実践が全国に広がっていききました。ただ、庄内町のように専用の施設や職員がいるわけではないので、公民館等の施設を利用して、地域の多くの皆さんのサポートで実践される地域が多いようです。こうした実践をとおして、子どもを中心としたぬくもりのある地域コミュニティを再構築することも「通学合宿」の大切な目的の一つになってきているようです。

今回の合宿も、たくさんの地域のみなさんのサポートがありました。「ここで学んだことが、家に帰ってからでもできるように頑張りましょう。」という言葉をいただきました。ドラム缶風呂、座禅体験、ピザづくり体験と普段できないような体験もできました。多くのことを学んだことでしょう。学んだことは、普段の生活の中でも生かせるといいなと思います。

実施に向けて、さまざまなサポートをしてくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。



PTAのプール開放について！

例年、本校PTAでは、子ども達が暑い夏を少しでも楽しく過ごせるように、夏休みにプール開放の事業を行っています。昨年度も実施しましたが、昨年度は途中で中止いたしました。水温が33℃を超え、注水をしても水温が下がらなくなってきたためです。プールサイドの気温は連日37℃を超えるような状態でした。プール監視をされる保護者の皆さんの体調も心配になるような状況でした。

今年度のプール開放を実施するかどうかについては、3役会及び運営委員会で時間をかけて協議していただきました。水温が33℃を超えるような暑さが今後も続くのかどうかわからない中で、事業をやめるのはどうなのか。やめるにしても子ども達が、集まって遊べるような場づくりはできないものか、などさまざまな意見がありました。結論としては、

- ① 今年度も実施の方向で準備を進める。
- ② やるかやらないかの判断基準を事前に明確にしておく。
- ③ 今年度の様子で、来年度の実施については、3役会や運営委員会で検討していく。

プールの使用制限について、明確な規定があるわけではありませんが、調べてみると以下の3つのような条件で、プールの使用について、「注意をする」「制限する」「使用を中止する」などの判断をしている市町村や学校が多いようです。

- ① 気温と水温を足して65℃になる場合
- ② 熱中症指数が31℃を超える場合
- ③ 水温が33℃を超える場合

職員とも検討した結果本校では、③を採用することといたしました。今年度も、夏休みのプール開放に向けて準備を進めていただいておりますが、水温が33℃を超えるような場合には、実施できなくなることをご了解ください。

昨年度の様子、今年度の状況を踏まえて、来年度からの事業の進め方については、検討していくこととなります。ご理解いただきますようお願いいたします。



令和7年4月8日(火)
津和野町立津和野小学校
学校だより



NO. 1

令和7年度スタートです。

今年の春は、ダウンを着て花見に出かけました。寒い冬がようやく終わり
本日より、令和7年度がスタートしました。合わせるように、気候も一
気に春めいてきました。保護者の皆様、地域の皆様、本年度どうぞよろしく
願いたします。

さて、本日は、令和7年度1学期始業式を行いました。いろいろな思いで登校していると思いま
すが、多くの子ども達は、とても張り切っていたように思います。1学期の始業式は、いつもこの
1年特に頑張ってもらいたいこと(学校教育目標)について話しています。以下のとおりです。

今年度の合言葉(学校教育目標)は、「**未来を創る つわのっ子**」です。未来を担うのはみなさん子
ども達です。その未来は、自分もまわりの人も幸せな未来であってほしいと校長先生は願っています
。津和野小学校でたくさんのことを学んで、そんな未来を創ることのできる「つわのっ子」に成
長してほしいと思っています。だから、合言葉は「未来を創る つわのっ子」です。先生方には、
みなさん一人一人がそのような子どもに成長するよう努力してくださいと願っています。です
から、みなさんも、自分の未来を自分で切り開いていけるよう頑張ってください。先生たちみんな
で応援します。

では、「未来を創る つわのっ子」とはどんな子どもなのでしょう。昨年度津和野小におられた先
生方で、何度も話し合いをして決めました。

① 「つわのっ子」の「つ」は、

ともに①くる子です。「ともにつくる子」というのは、

- ・自分の考えや気持ちを分かりやすく伝えたり、自分と違う考えも受け止めたりできる子【対話力】
- ・自分と友達の考えの違いをわかって、より良いものを生み出すことができる子【合意形成力】
- ・学級や学校全体のためになることを、進んで取り組むことができる子【社会貢献】

② 「つわのっ子」の「わ」は、

②わたしから よいそう子です。「わたしからよりそう子」とは、

- ・良いことと悪いことの判断をし、みんなが安心して生活できるように行動する子【規範意識】
- ・周りの人の気持ちや思いを考えて、その気持ちや思いに寄り添うことができる子【他者理解】
- ・周りの人の思いを感じて、その人のためになるような言葉がけをしたり、行動をしたりする子【他者貢献】

③ 「つわのっ子」の「の」は、

②びる子です。「のびる子」というのは、

- ・「なりたい自分」を自分で決めることができ、自分で決めたことに責任を持つ子【自己決定】
- ・苦手なことに会っても、より良い方法を試しながら、粘り強く取り組む子【忍耐力】
- ・自分の気持ちの変化に向き合い、適切な方法で、気持ちを切り替えることができる子【レジリエンス】

みなさんがこんな「つわのっ子」になることが、ここにいる先生たちの願いです。みなさん一人
一人が「つわのっ子」になれるように、そして、津和野小が「つわのっ子」でいっぱいになるよう
精一杯応援します。でも、先生達だけがどんなに頑張っても、それだけでは、津和野小はそのよう
な学校にはなりません。みなさんの力が必要です。津和野小が「つわのっ子」でいっぱいになるよ

うみなさんも一緒に考えてください。自分にできることは何かを考えて行動してください。先生た
ちとみなさんが同じ方向を向いて一緒に頑張ることで、津和野小は「未来を創る つわのっ子」で
いっぱいになるところでしょう。校長先生は、今、とってもワクワクしています。

最後に1つ。毎年6年生にお願いしていることです。学校にはその学校独特の雰囲気があります。
その雰囲気を創るのは多くの場合6年生です。ぜひ、あたたかくて柔らかい雰囲気を創ってくださ
い。全校児童が失敗を恐れることなく、安心していろいろなことにトライできるようあたたかい雰
囲気の学校を創ってください。6年生の皆さん、今年1年津和野小をよろしく願いたします。

子ども達は、未来を創造します。未来の社会を支える
のは目の前の子ども達です。自分もみんなも大切にさ
れる未来を創ってほしいと思います。立場や考え方が
違う人とも、共に学びあえる仲間づくりのできる大人
に成長してほしいと願っています。そんな理想に向か
って自分自身の力を自ら高めていくことのできる大人
に成長してほしいものです。明日、入学してくる1年生
を合わせて、合計103名の子ども達と26名の職員
とで、子ども達が、そんな大人に成長できる津和野小を
目指して、令和7年度の津和野小は動き始めます

今日、子ども達に、私達職員の目指すことや願いを代
表で私が伝えました。本日、保護者の皆様には、津和野
小の子ども達がどんな子に成長してほしいかをお尋ねするアンケートを配布しております。今後、
その保護者の皆様の願いを担任から伝え、子ども達自身がどのような子どもに成長したいのか、あ
るいは、どのような力をつける必要があるのか思いを出し合う機会を設けます。先生たちの願いを
受けとめ、保護者の皆様の思いを受けとめ、自分たちの願いを出し合った上で、今年度の各学級の
「学級目標」を決めていきます。その上で、毎月、各学級の学級目標を達成するために、子ども達
は今月何をするかを決めて、実行し、月末には1か月の振り返りをしながら、「未来を創る つわの
っ子」に迫っていきたいと考えています。お忙しいことと思いますが、ご協力をお願いいたします。

今年度のスタッフを紹介します。

本年度、新たに8名が赴任いたしました。1人1人がそれぞれの持ち味を発揮して、日々子ども
達とともに成長していきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様、今年度もつわのっ子をと
もに育てる子育てパートナーとして、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



昨年度の6年生が企画した「これからがんばってくだ祭」